

# 週報

年 題「主の教えを喜び、祈り、伝える教会」

「主のおしえを喜びとし昼も夜もそのおしえを口ずさむ人。その人は流れのほとりに植えられた木。時が来ると実を結びその葉は枯れずそのなすことはすべて栄える。」

詩篇1篇2節-3節（新改訳2017）

2025年12月 7日 No. 49

ホームページ <http://izumo-church.com>

出雲福音ルーテル教会・浜山グレースチャペル 牧師 清間 寿 仁

〒693-0054 出雲市浜町494-3 TEL 0853-22-4693 E-mail [izumo-lutheran@sky.plala.or.jp](mailto:izumo-lutheran@sky.plala.or.jp)

**今週の聖書** 「エッサイの株からひとつの芽が萌えいで その根からひとつの若枝が育ちその上に主の霊がとどまる。知恵と識別の霊 思慮と勇気の霊 主を知り、畏れ敬う霊。」イザヤ書 11章11節-12節

## 礼 拝 式

待降節第2主日

司式 清間 寿 仁 師  
奏楽 清間 志 音 姉

奏 楽  
讃 美 歌（起立） 2 3 7  
祈 り

讃 美 歌 5 1 2  
聖 書 朗 読

イザヤ書11章1節-10節（旧約1078P）  
マタイ3章1節～12節（新約3P）

佐々木真由美姉

信 仰 告 白（起立） 使徒信条

讃 美 歌（起立） 1 9 6

説 教 「エッサイの根からの芽」

清間 寿 仁 師

讃 美 歌 4 6 3

聖 餐 式 7 8 ・ 4 3 3

吾郷洋子姉 吾郷義也兄

永瀬春美姉 山崎加奈姉

感 謝 献 金（起立） 6 5 - 1

佐々木真由美姉

清間 貴 子 姉

主 の 祈 り（起立）

頌 栄（起立） 2 7

祝 福（起立）

清間 寿 仁 師

後 奏（起立）

私たちは神様の家族の一員です。  
もはや一人ではありません。  
主の平安をたずさえて行きましょう。  
家庭に、職場に、学校に。

### 使徒信条

われは天地の創造主（つくりぬし）、  
父なる全能の神を信ず。  
われはその独り子、われらの主  
イエス・キリストを信ず。主は、聖霊  
によりて宿り、おとめマリアより生ま  
れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみ  
を受け、十字架につけられ、死し  
て葬られ、よみにくだり、三日目に  
よみがえり、天にのぼり、父なる全  
能の神の右に座したまえり。生け  
る人と死にたる人とを裁かんがた  
め、かしこより再び来たりたまわん。  
われは聖霊を信ず。また、聖なる  
キリスト教会、すなわち、聖徒の交  
わり、罪のゆるし、からだのよみが  
えり、かぎりなき生命を信ず。  
アーメン

### 主の祈り

天にましますわれらの父よ。  
願わくは御名を崇めさせたまえ。  
御国を来たらせたまえ。  
みこころの天になるごとく、  
地にもならせたまえ。  
われらの日用の糧を、  
今日も与えたまえ。  
われらに罪を犯す者を、われらが  
ゆるすごとく、われらの罪をも  
ゆるしたまえ。  
われらを試みにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国と力と栄とは限りなく  
汝のものなればなり。 アーメン

教会 祈 祷 1.年題を覚え、共に歩めるように。教会会計の為に

2.信徒一人ひとり・病床の兄姉の為に。

3.クリスマス諸集会の祝福と伝道に用いられるように。

(1)

## 活動方針

主の教えを喜びとし愛を受ける。

主の教えを喜びとし祈り仕える。

主の教えを喜びとし福音を伝える。

先週の説教

「共に樂園にいる」

清間寿仁師

ルカ23:32-43 エレミヤ23:1-6 コロサイ1:11-20 詩篇46

「はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に樂園にいる」ルカ 23:43

本日の御言葉は、主イエス・キリストが二人の犯罪人とともに十字架につけられた場面です。ルカ23:43にある「樂園」とはパラダイス、すなわち主を信じ、世の命を終えた者が迎え入れられ、戻るべき場所「天の御国」。エレミヤ23章で約束された、迷える羊が帰るべき真の牧場であり、主と共に永遠に生きる恵みです。

【十字架に付けられる】

イエス様は無実でありながら、ユダヤ最高法院、ヘロデ、ピラトのもとで裁かれ、「イエスを十字架につけろ！」という群衆の叫びによって、犯罪人の一人として十字架につけられました。それでもイエス様はこう祈られました。

「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです」ルカ23:34

なぜ罪なきお方が十字架へ？コロサイ1:13-15は答えます。「御父は、わたしたちを闇の力から救い出して、その愛する御子の支配下に移してくださいました。わたしたちは、この御子によって、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。御子は、見えない神の姿であり、すべてのものが造られる前に生まれた方です。」これこそがイエス・キリストの十字架の理由です。

十字架の主は、「水面を動く神の霊」(創世記1:2)の時、天地創造の初めから神と共におられた、約束の救い主です。しかし人々も、共に十字架につけられた犯罪人の一人も、そのことを知らず、嘲りました。それでも、その中に一人だけ、イエス様を正しく見た者がいました。それがもう一方の犯罪人です。「イエスよ、あなたの御国においてになるときには、わたしを思い出してください」ルカ23:42。彼は自らの罪を認め、イエス様の御名を呼び、信仰を告白しました。そこで主イエスは、救いの御言葉を彼に約束されました。「はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に樂園にいる」23:43。罪人に向けられた、この確かな救いの言葉。これは今を生きる私たちにも与えられている約束であり、希望です。

【福音のはじまり:待降節へ】

今日は教会暦で言う待降節(アドベント)の第一主日。救い主の誕生を待ち望む時が始まります。そしてこの日は、「神の子イエス・キリストの福音の初め」(マルコ1:1)主の誕生を待ち望む教会の一年の始まりであり、主と共に踏み出す福音のスタートの日でもあります。

主に赦され、救われた私たちは、十字架の犯罪人と同様に、「罪人でありながら義とされ、天国に迎えられる者」(マルティン・ルター)裁かれねばいけなかったのに赦され救われた者達です。だからこそ、感謝と喜びをもってこう告白し続けましょう。「イエスよ、御国においてになるとき、私を思い出してください」と。そして主は約束されました。「今日、あなたはわたしと一緒に樂園にいる」、罪赦され救われた私達を、主は必ず「真の牧場」、すなわち天の御国へ迎え入れてくださいます。その恵みの希望を握りしめ、良き知らせ、福音そのものである救い主、主なる神、イエス・キリストの御降誕を喜び、感謝しながら、来る新しい一年を主と共に歩み出して参りましょう。

## 牧会メモ 新約聖書の学び「ルカによる福音書④第十章、七十二人を派遣する」

その後、主はほかに七十二人を任命し、御自分が行くつもりすべての町や村に二人ずつ先に遣わされた。そして、彼らに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。ルカ10:1-2

本日の学びは「七十二人を派遣する」ルカ 10:1-12です。

### 弟子が歩む道

イエス様は、先の12人の弟子を派遣(ルカ9:1-6)に続き、更に72人の弟子達を派遣されます。この「12弟子」と「72弟子」の数字は聖書の御言葉を旧約聖書に遡る事によって見えてきます。「12」はイスラエルの12部族、そして「72」は、出エジプト24:1の『イスラエルの七十人の長老』(出24:9、民11:16参照)に由来する数字です。それは彼らこそが、新しい神の民の代表を意味し、全ての信仰者の代表でもあるのです。イエス様は前回と同じく彼らを二人ずつ、先に遣わされ、これから行くつもり町々や村々にその事を知らされます。

十字架の時は近づき、残された時間に猶予はありません。弟子達が主の民の代表、前ぶれとして民の前に訪れた後、イエス様が現れ福音を語り、宣教されれば町や村は二重の福音宣教を受けることになります。またイエス様がそこそこに滞在される時間も短縮できます。その福音宣教は今も変わりません、イエス様は私達、信じ救われた者達を主の弟子、先駆者、パイオニアとして先に人々の所に遣わされ、ご自身を知らされて居られる通りです。

「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。」ルカ10:2。

この働きには多くの収穫が約束されています。ところが労苦が多く、働き手も少ないのです。また「それは、狼の群れに小羊を送り込むようなものだ。」(ルカ10:2)とあるように、様々な危険、迫害(マタイ10:17-23)という外的な危険、また主に感謝を忘れ己を誇る「奢り、高ぶり」の霊的な危険(ルカ10:17-20)も絶えず伴っています。

また主に遣わされた道は、二つ心をもって、また複数の事を同時に考えながら進める道でもありません。日々の糧や生活必需品の心配、また世間の話しや言葉に囚われては歩めない道なのです。主の働き人としての任務は、主イエス・キリストによってもたらされる「神の平安」を伝える事です。だからこそ病を癒し、悪霊を追い出す与えられた力は、いまこそ「神の国」が近づき到来したことを知らせる為のものです。その奇跡をただ癒しだけしか見ようとしない者達は、その先にある「神の御国の到来」を見落として居る事になるのです。けれど主の御名によって行われる奇跡のその先に神の御力を見、キリストを信じる者には、豊かに神様の福音の平安が注がれていくのです。

「遣わされないで、どうして宣べ伝えることができよう。「良い知らせを伝える者の足は、なんと美しいことか」と書いてあるとおりです。」ローマ 10:15。

救い主イエス・キリストの福音を伝える働きは、世のどの様な業よりも重大で偉大な業である事を覚えましょう。参考図書:「早わかり聖書ガイドブック」、「新聖書ハンドブック」他

## 報 告

- 清間師、本日午後、大田教会にて役員会に出席します。お祈りください。
- 次週礼拝後、しもべ会を開きます。執事の方はお集まり下さい。
- 12/13(土)17時～、出雲市駅アトネス入り口付近にてクリスマスキャロリングを行います。お気軽にご参加ください。参加希望の方は掲示板にてお知らせ下さい。
- 12/14(日)13時半頃から販売用ケーキ作りをします。作り手募集中です。また、祝会、キャンドル礼拝のスイーツ等を作って下さる方も募集中です。掲示板にてお知らせ下さい。
- 冬季感謝献金のお勧め。主の恵みに感謝してお献げしましょう。
- 年会資料原稿依頼を週報B0Xに入れさせて頂きました。訂正等は清間貴姉まで。

原稿締切:1/10(金)

## 今 週 の 予 定

	聖書日課		祈り
7 日 (日)	イザ 11:1-10 詩72:1-7, 18-19 マ 15:4-13 マ 3:1-12	9:00- ジョイフルキッズ 10:30- 礼拝 19:30- 夕礼拝 (各礼拝インターネット配信あり)	年 題「主の教えを喜び、祈り、伝える教会」 詩篇1篇2節-3節の御言葉と共に祈り求め歩めるように。 教会本会計、諸会計を覚えて。
8 日 (月)	イザ 24:1-16a 詩21 17マ4:1-12		清間師、I・ヴァルボ先生の働きと祝福、兄弟教会を覚えて。宇井師ご夫妻・在原師ご夫妻・穂垣師の生活と働き、いのちの水計画を覚えて。
9 日 (火)	イザ 41:14-20 詩21 マ 15:14-21		礼拝に導かれている方を覚えて-山崎さん、佐藤さん、山内さん、伊藤さん、佐野さん、横木さん、佐藤さん、吾郷博昭さん・みのりさん、飯島さん、安部千姉のご家族、原淳子さん、堀江富士夫さん、飯塚慶彦さん、岡飛那汰さん、室谷俊貴さん、また主を求める方の為に。
10 日 (水)	創15:1-18 詩21 マ 12:33-38	10:30- 祈り会 19:30- 夜の祈り会	阿式通兄、安部梶姉、安部末一兄、中奥姉、上田姉の弟さん、佐々木姉、吾郷姉、吾郷みのりさん、永瀬姉のお母様の癒し、また病の中におられる方の癒しのために。
11 日 (木)	ルツ1:6-18 詩146:5-10 2ペ 3:1-10		コイノニア、ベテル聖研、中高生会、青年会、マリヤ会の祝福のために。
12 日 (金)	ルツ4:13-17 詩146:5-10 2ペ 3:11-18	10:00- ベテル聖書研究	駐車場の土地（東隣地）が与えられるように。各地で起きた災害に遭われた方々のために。
13 日 (土)	サム上2:1-8 詩146:5-10 ルカ3:1-18	17:00- キャロリング (出雲市駅～アトネス高架下)	ジョイフル・キッズの働き、お友達の救いと成長のために。全ての礼拝の祝福のために。それぞれの奉仕者を覚えて。

## 次 週 (12/14) 当 務

説教	清間師	受付	清間姉	音響	吾郷兄	掃除	1 F 礼拝堂	山崎智姉
司式	福島姉	聖餐		P J	清間姉		1 F その他	高橋姉
奏楽	姜兄	片付け		昼食			2 F	清間志姉
聖書朗読	吾郷兄	お花					3 F	
献金	山崎加姉	聖餐				片付	1 F	清間夫妻
	吾郷兄						2・3 F	山崎加姉

J 説 教	K 教 清間師	夕 拝 説 教	清間師	夕 拝 奏 楽	ヒム P	夕 拝 奉 仕	
-------	---------	---------	-----	---------	------	---------	--

聖 書 箇 所	イザヤ35:1-10 詩146:5-10 1コリ1:47-55 ヤコ5:7-10 マタイ11:2-11 「貴方の道を準備しよう」 229・512・327・532・65・2・28
教 会 祈 禱	清間師、I・ヴァルボ先生の働きと祝福を覚えて。 其々の新しい奉仕者が与えられるように。

- ◆初めての方でも初歩から学べるバイブルクラス(聖書入門)があります。ご希望の方は牧師まで。
- ◆洗礼はクリスチャン生活のスタートです。洗礼のご希望・ご相談のある方は牧師まで。